

平成26年度 新発田・北蒲 保健部 活動報告

部長 大関 佳子

1 研究主題

児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の視点
「保健室来室者への養護教諭の対応とその視点」

2 研究の概要

心因性来室者への支援の在り方について、もっと深く研修を積みたいという部員からの要望が多く、今年度で3年目の取組となる。今回は事例学習会と保健室で使える心理療法について研修することとした。

3 研究の実際

- 4月 保健部研究計画の検討
 - ・役割分担
 - ・事業の決定

- 7月 心因性来室者へ支援の在り方について 事例学習会（第2回研修）
 - ・指導者 新発田市教育委員会 学校教育課 SSW 江端 三知子 様
 - ・事例発表 御免町小学校 蛭海 浩子 養護教諭
住吉小学校 堀 功 養護教諭
川東小学校 本間 美和子 養護教諭
 - ・会場 新発田市立猿橋小学校

- 11月 保健室で使える心理療法について 講義・実習（第3回研修）
 - ・講師 新潟青陵大学 大学院 准教授 伊藤 真理子 様
 - ・講義実習 保健室で使える心理療法（非言語的表現で）
個人演習・・・自分の居場所・汚いものをきれいに
共同演習・・・コラージュ
 - ・会場 新発田市立猿橋小学校

4 成果

- (1) 第2回研修では、各校で作成した心因性来室者個人記録表の中から3校の事例について発表した。意見交換のあとで、それぞれの事例についてSSWの江端先生より連携や対応の仕方についてご指導いただいた。また、新発田市の相談支援状況についてもお話を伺うことができた。
市全体の動きや各学校の保健室来校者の実情を理解することができ、とても有意義な研修となった。
- (2) 第3回研修では、新潟青陵大学大学院の伊藤准教授をお迎えし、保健室で使える心理療法について実習を行った。
実習内容は、真っ新たな画用紙をパステルで塗りつぶし汚した状況から、自分の意図する絵を描いていく技法であった。技法を学ぶだけでなく、その作業が個の持つ嫌悪感を払拭し新たな期待を抱かせること、言い換えれば、不登校児童に対しても今の状況を認め、新たな一歩を踏み出す気持ちにさせることを学んだ。これ以外にも、保健室で、児童の様子に合わせて利用していける心理療法をたくさん紹介してもらい大変参考になった。
- (3) 保健室へ様々な悩みを抱えて来室する児童が増えている。2回の研修を通して、部員それぞれが、保健室での対応やこれまでの事例を振り返り、今後につなげていくよい機会となった。